

ありがとうをつたえたい ~わたしの「できた」を集めよう~



新型コロナウイルス感染予防の観点から可能な範囲で人との接触を避けつつ、児童が自分の成長を振り返るために身近な人々に協力していただきながら、長期の変容や成長の様子を捉えることが大切です。年間指導計画を活用し、自分の成長に気付くための学習展開を工夫しましょう。

第2学年【単元名】ありがとうを伝えたい

目指す姿
(イメージ)

知識及び技能の基礎	自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かっている。
思考力、判断力、表現力等の基礎	自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えている。
学びに向かう力、人間性等	自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって意欲的に生活している。

〈新型コロナウイルス感染防止を踏まえた授業展開のポイント〉

- ①感染防止に配慮しながら、具体的な活動や体験を行うとともに、その文脈に即した学びを重視する。
- ②低学年児童の発達特性（活動と思考が一体化）を踏まえ、結果に至るまでの過程を丁寧に見取りながら行う指導と評価を重視する。



1 どんなことができるようになったかな？
自分自身の生活や成長を振り返ろう

課題設定



「家のお手伝いを毎日しているよ。」
「〇〇くんは、みんなにやさしくできるよね。」
「〇〇さんは、縄跳びに何度も挑戦していたね。」
「たくさんの人前で、発表することができたよ。」
「できることが増えて、自信がついたよ。」

- ①自分ができるようになったことを、カードに書き出す。
- ②カードで自分ができるようになったことを交流する。

友達のカードを見て回り、感想を付箋に書いてカードへ貼ってみよう。



友達の感想を読み、さらに自分のことについて、くわしく調べたいという思いをもたせましょう。

学校で

2 大きくなった自分のことをしらべよう
お家の人や友達等にインタビューしよう

情報の収集



- ①家庭学習で「何をすればよいのか」が分かるようにする。
 - ②活動の手順や方法、目的などを保護者にも通信等で伝える。
 - ③ワークシート等を活用する。
- 等に、配慮すれば、安心して家庭学習をすることができます。



幼稚園の先生にインタビューする等、自分の成長に関わる人にインタビューする機会や回数が制限されると思います。

- 〈自分の成長に気付くための工夫〉
- ①入学・進学時に書いた自分の名前や絵を収集しておく。
 - ②生活科の学習等で作成したものや作文等を活用する。



自分の成長に気付かせ、支えてくれた人へ感謝の気持ちを伝えたいという願いをもたせましょう。

家庭学習で

3 ありがとうの気持ちを伝えたい
自分のことや支えてくれた人々について考えよう

整理・分析



したことを整理する
◆国語科「書くこと」の学びをいかす。

インタビュー等したことから、キーワードを付箋紙に書きだし、黒板に視点ごとに分類する。

授業において振り返り、気付きの質を高めていくことができるような授業展開を工夫しましょう。

例えば、児童が学習の見通しをもてるよう丁寧な事前指導を行ったり、ワークシートなどの表現物を工夫したりすることが考えられます。

参観日等にお世話になった人を招待することが難しいので、①～④の展開を考えてみました。

4 自分のせい長をまとめてつたえよう
作品（新聞・パンフレット・絵本等）・実演等、伝え方を工夫しよう

まとめ・表現



- ①作成
- ②発表
- ③先生と振り返る
- ④家族に伝える

- ①自分の成長を、自分が決めた方法でまとめる。
◆国語科「書くこと」、図画工作科「表現」等の学びを活かす。
- ②まとめたことを、発表する。
◆国語科「話すこと」の学びを活かす。

- ③担任の先生と、学びを振り返る。
児童の成長をカードに記述し、手渡す。

- ④家族へ感謝を伝える。
学習したことを活かして、家族に感謝の気持ちを伝える。

家族以外のお世話になった方へ届ける場合は、発表の様子を動画で撮影し、DVDで配布する等の工夫が考えられます。



学校で

家庭学習で

「3年生も〇〇が楽しみだな」「〇〇にちょうせんしたいな」